

斜面崩壊と雨の降り方の関係に関するシンポジウム 北九州 2022 ～斜面災害による人的被害を無くすために～

論文募集

主催: (公社) 土木学会西部支部, 北九州市

後援: (公社) 地盤工学会九州支部

(公社) 日本地すべり学会九州支部

(一社) 建設コンサルタンツ協会九州支部

(一社) 日本応用地質学会九州支部・九州応用地質学会

(一社) 北九州市建設コンサルタント協会

土木学会西部支部「斜面災害リスクに関する評価手法の開発と斜面防災の実用化に関する調査研究委員会」では、斜面の地形、地質や地盤の力学性状および透水性等の情報を用いて、その危険度および崩壊土砂の到達範囲等を予測する手法を開発することを目的として、主に北九州圏域の自然斜面を対象に調査・研究を行っています。

この度、「斜面崩壊と雨の降り方の関係に関するシンポジウム 北九州 2022 ～斜面災害による人的被害を無くすために～」を下記のとおり開催いたします。つきましては、下記のテーマに関する論文を募集しますので、奮って応募いただきますようお願い申し上げます。

なお、開催予定時期の新型コロナウイルス感染状況によっては、開催地、会場、開催形態(オンライン開催など)を変更する可能性があります。

期日: 2022年11月18日(金), 19日(土)

会場: スペース LABO アネックス (北九州市科学館・分館) 北九州市八幡東区東田2丁目2-11

テーマ: 雨の降り方と斜面災害リスクに関する評価方法や斜面防災の実用化に関する研究・開発・施工事例

- 1) 斜面の特性と雨の降り方による斜面災害履歴
- 2) 現場データを用いた斜面の崩壊危険度および崩壊土砂の到達範囲等を予測する手法
- 3) 避難体制の取組みとその問題点など

概要申込期限: 2022年7月30日(土)

なお、CPDは申請中で、会場やプログラムの概要は7月末にお知らせします。

内容: 論文は原則として未発表のものとし、上記テーマおよび趣旨に関するものであることとします。

執筆言語: 日本語または英語

論文集・口頭発表: 採択された論文は当シンポジウム論文集に掲載され、原則として口頭発表(ひとりにつき一編まで)が義務付けられます。

投稿料: 7,000円(シンポジウム論文集、シンポジウム参加費含む。論文採択決定時に支払い)

論文申込み方法: 論文申込みはE-mailによる申込みとし、「斜面崩壊と雨の降り方の関係に関するシンポジウム北九州2022論文申込み」と標記し、以下の必要事項をメール本文に明記して、下記申込み・問合せ先までお送りください。

- 1) 論文題目
- 2) すべての著者の氏名・所属(連名の場合は発表者に○印)
- 3) 連絡著者名・連絡先(住所・電話・E-mail)
- 4) 論文概要(和文500字もしくは英文200 words程度)

概要が採択された方には、2022年7月中旬に執筆依頼をお送りします。論文の提出期限は2022年8月22日(月)を予定しています。論文は担当委員会による査読を行い、その採否を決定いたします。採択された論文は修正をお願いすることがあります。

論文集に掲載された著作物の著作権のうち、当該刊行物の編集にかかわる著作権は土木学会西部支部に帰属し、個々の執筆部分の著作権と著作者人格権は執筆者に帰属するものとします。なお執筆者は、学会が第三者から複写に関する著作権利用の許諾申請を受けた場合および学会自らが論文集以外に利用する場合(電子媒体による利用を含む)、これに関する著作権の行使を学会に許諾するものとします。また、これにより学会が著作権使用料等を得た場合は、学会の運営費に充当することを認めるものとします。ただし、執筆者自らが著作権を行使することは妨げません。

※執筆者による転載(の許諾)、複製(の許諾)について学会への申請は不要です。

申込み・問合せ先

九州産業大学建築都市工学部都市デザイン工学科 林 泰弘

Email hayashi☆ip.kyusan-u.ac.jp(☆を@に変更して送信してください)

Tel 092-673-5682